

定期報告（ウルグアイ内政・外交：2016年5月）

【内政】

1 パナマ文書を受けた動き

4日、パナマ文書を受け、脱税等に関する法案の検討のための特別委員会が上院に設置された。また、19日、ベルガラ中央銀行総裁は、銀行秘密やオフショアカンパニーに関する法整備を強化する旨発表。

2 バスケス大統領の支持率回復

17日に発表されたCifra社の世論調査によれば、バスケス大統領の支持率は39%となり、数ヶ月前から下降傾向にあった支持率は若干回復した。

3 与党拡大戦線（F A）総裁選の延期

与党F Aは、29日に予定されていた総裁選を7月24日に延期した。同延期は、4月に発生した竜巻・洪水により甚大な被害を受けた県の地方委員会からの要請によるもの。

【外交】

1 ブラジル情勢に関する与党の反応

- (1) ウルグアイ政府は公式な立場を発表せず。
- (2) 13日、与党拡大戦線（F A）は全国政治委員会名義で宣言を発出し、ルセーフ伯大統領の停職及びテメル暫定政権の発足を「クーデター」として非難した。
- (3) 18日、ニン・ノボア外相はテレビ番組のインタビューにおいて、ルセーフ大統領の無実を主張したものの、同大統領が再び大統領の地位に戻ることはないだろうとの見解を示した。

2 中央アフリカ共和国へのPKO派遣

18日、メネンデス国防次官は中央アフリカ共和国への120名のPKO派遣を発表した。

3 ベネズエラ情勢

20日、ニン・ノボア外相はチリ及びアルゼンチンの外相とともに、ベネズエラ与野党間の会話を慫慂し、事態の平和的・民主的解決を呼びかける共同声明を発出した

【治安・社会】

1 与野党合同治安対策会合の開催

バスケス大統領は、治安対策について議論するため与野党合同での対策会合を実施。合意された点は以下のとおり。

- ・ 厳罰化された新刑法の施行を2019年から2017年に前倒しする。
- ・ 麻薬関連犯罪に対する刑罰の見直し。
- ・ 重犯罪の再犯者の早期釈放禁止。

2 P I T - C N Tによるメーデー式典の開催

1日、全国労働総同盟（P I T - C N T）が5月1日広場で式典を開催。ムヒカ前大統領、トポランスキー下院議長、ガルシア大統領府予算企画庁（O P P）長官、ムーロ労働社会保障相、アマード下院議員らが出席した。

3 モンテビデオ県ゴミ収集問題

8日、モンテビデオ県におけるゴミ収集車の不足により回収が十分に実施されていない現状を受け、県庁が特別清掃作業を実施。ゴミ回収の遅れはモンテビデオ県で最も深刻な問題となっており、マルティネス・モンテビデオ県知事の支持率は低下。

4 バスケス大統領のC T F K賞受賞

14日、米反タバコ団体「子供をタバコから守るキャンペーン（C T F K）」がバスケス大統領のタバコ撲滅に向けた功績を評価し、同大統領を表彰することを発表した。

5 治安悪化に伴う深夜の現金払い禁止

15日、昨今の治安悪化を受け、22時～6時の間のガソリンスタンドでの支払いはカード払いのみとなった。

6 「沈黙の行進」の実施

毎年5月20日、文民・軍部独裁政権期の行方不明者に関する真相研究・責任者処罰を求め、行方不明者家族団体、学生団体、人権団体、政治家、労働組合等が「沈黙の行進」が実施している。3月に共和国大学で同問題を調査している研究室が何者かに荒らされた事件を

受け、実施に対する懸念もあったが、同行進は本年も無事終了した。

7 コンドル作戦に関与したウルグアイ軍人への罫での実刑判決

27日、罫の裁判所は、70年代に南米各国の軍事独裁政権が協力して推進したコンドル作戦に関与した罪でウルグアイ軍人マヌエル・コルデーロに25年の実刑判決を言い渡した。

8 マルコーニ地区での暴動の発生

27日、モンテビデオ県の最貧地区の1つであるマルコーニ地区で、一人の青年の死亡を発端とする住民のデモが暴徒化し、バスが放火される等の混乱が生じた。翌日以降共和国軍によるパトロールが実施され、一時的なバスルートの変更により住民の生活にも影響が及んだ。

【要人往来】

○往訪

- ・25日、カンセラ外務次官訪罫
- ・27日、ケチチアン観光相訪罫

○来訪

- ・16日、クラークUNDP総裁
- ・27日、ディディエ・スイス外相

(了)